

2025. 6. 15

教師、教育関係者、ネット啓発アドバイザー、保護者、
教育行政・議員、マスコミの皆さん



訴えと講演の要旨

今、子どもの言語能力・思考力が危ない ～デジタル教科書について「子どものネットリスク教育研究会」からの 緊急意見と半日研修会へのお誘い～

子どものネットリスク教育研究会 代表：大谷良光

今年（2025年）2月に中教審デジタル教科書推進WG「中間まとめ」が発表され、「デジタル教科書を正式な教科書として使えるよう法的「改正」を行い、2030年から小・中・高校と順次、紙の教科書から移行させること」の方向性が示されました。これは、教科書の全面デジタル化を進める、経産省・総務省の要求に沿ったものであり、この方針に歯止めをかけなければ、今後、子どもの言語能力・思考力の劣化が進むと考え、関係者に呼びかけます。

子どもの言語能力に注視

われわれの「緊急意見」の被害対象は、「子ども」です。

無批判的にデジタル DX を推進する方々や多くの利用者は、デジタルの便利性を評価し、デジタル機器に依存しすぎていると思います。言語学者の酒井邦嘉氏はこの現状に「強い危機感を覚えます」と警鐘を鳴らしています。

言語能力の育成を幼稚園や小・中学校において、また家庭で「当たり前」に獲得してきた今の青年・大人と、これからメイン教材である教科書がデジタルに変わり、紙による[読み⇄書き]の機会が大幅に減少する時代に育つ子どもでは、言語能力の発達のレベルが大きく異なるという認識を持つことが必要と考えています。

言語能力の発達の道筋は、紙による[読み⇄書き]を通して脳の神経細胞が互いにシナプスで結びつき合いながら、複雑なネットワークがつくられ確立していきした。

アメリカの著名な認知神経科学者のメアリアン・ウルフは、「**読字の質は、思考の質**」と名言を述べています。すなわち、思考は脳内の内言で深まります。内言の豊かさが思考の質に繋がります。

思考力を高める、言語能力を高めることは、教育において誰もが否定できない教育目的です。教育デジタルの推進者も思考力の向上を語っています。しかし、問題は「思考力、言語能力のベースは、紙媒体による[読み⇄書き]で育つ、育てることが必要である」という「**もっとも単純な事実**（メアリアン・ウルフ）」を知らない（知らされていない）か、意識していないが多数おられることです。

デジタル化社会において思考力を育てる3つのポイント

～「この単純な事実」「紙媒体の必要性」「体験的学習」～

第1は「この単純な事実」です。脳には言語中枢（[聞く⇄話す]の神経細胞ネットワーク）が、人類の誕生から10万から20万年の歴史の中で形成され遺伝子として引き継がれてい

ます。ですから、人と人が会話する環境があれば、その神経細胞ネットワークは形成されていきます。しかし、「書記中枢」(〔読み⇄書き〕の神経細胞ネットワーク)は人に遺伝子として**引き継がれていない**のです。それは、象形文字が誕生からまだ 6000 年位しか経っていないからです。よって、幼児期から子ども期で、系統的に教育しなければ〔読み⇄書き〕神経細胞ネットワークが育たないという「単純な事実」です。

第2は「紙媒体の必要性」です。幼小期の〔読み⇄書き〕は、当然キーボードによる入力では育たないことです。また、最近の研究で子ども期の〔読み⇄書き〕能力は、デジタルより紙媒体による方が優れているという、研究結果が世界的に優位になっています。特に「デジタルから紙への回帰」を国として政策転換を果たしつつある、スウェーデン等の国々の研究者の成果がそれを示しています。さらに、その変化について脳画像で明らかに**するところまで研究は進んでいます**。

第3は「体験的学習の必要」です。事物に対する科学的認識は、言葉の獲得と事物に対する科学的概念の認識と一体として深まります。特に乳幼児期や学校教育における学習では、実際の体験や実物との対面により理解が進むことは、多くの方にとって周知の事実といえます。しかし、学校教育におけるデジタル教育の問題点として、「**実体験の乏しさ**」「**実物との関わりの減少**」「**人と人との直接的な関わりの減少**」等が指摘されています。言語の獲得と事物に対する科学的認識には、体験的学習は必要不可欠です。

したがって、「この3つのポイント」とその科学的根拠を、多くの教育関係者、行政の方、教師、保護者の皆さんにお伝えし、その声を文科省や政府に届けることが今必要と考えています。

そのための第1歩として、われわれは研修会を下記のように企画しました。関心のある方は是非ご参加ください。また、ご賛同頂けましたら、本趣旨を関係者にお知らせいただければ幸いです。

子どものネットリスク教育研究会半日研修会のご案内

■テーマ 「今、子どもの言語能力・思考力が危ない」

「作文が書けなくなった」「長文が読めない子どもが増えた」「たどたどしい文字しか書けない」「読む活動が続かない」等、子どもの言語能力の低下を心配されている教師、教育関係者及び保護者の皆さん。その要因は何かをともに考えましょう。

■研修会開催の目的

- (1) デジタル教科書の小中高全面実施は、子どもの言語発達にとっての危機
- (2) 子どものスマホ等による脳の発達阻害の全体像を提示
- (3) 言語能力を育てる**紙媒体による**〔読み⇄書き〕の必要性とその科学的根拠
スマホやタブレット等デジタル端末の不適切な使用、国による不適切なデジタル教育施策について検討します。またその科学的根拠を大切にします。

■日時：同一内容を3回実施

2025年8月6日(水)、8月23日(土)、8月31日(日)
13時30分から17時00分 (入場開始13時15分)